茨城県外国人材活躍促進事業

インド人材 現地視察ツアー

未来の人材を見つけよう！

先着10社限定！

新たな人材確保の選択肢として、茨城県はインドに着目しています。
「インドはまだ早い」と思う今こそ、リスクを抑えて次の手を打つのに最適な時期です。
本視察ツアーでは、信頼できるインドの送出機関を巡り、貴社に最適な人材確保ルートを直接見極めます。
未来の人材戦略を構築するための一歩を、私たち県とともに踏み出しませんか。

信頼できるパートナーと繋がる

実績ある送出機関を訪問。顔の見える関係を築き、安心して人材受入れの相談ができます。

採用後の活躍が具体的に描ける

送出機関における教育環境や寮の視察、候補者との交流を通じ、彼らの真面目さやスキルの高さを実感できます。

受入れの不安をその場で解消

視察先は日本語でのやり取りが可能。言語や文化、手続きに関する疑問を現地で解決します。

日程 2025年 **11月9日（日）～13日（木）**

※　追加日程もご参加の場合、14日（金）までの行程となります。

視察先 **現地送出機関2社**、日系企業の工場等を予定
※　追加日程では、県と連携している現地大学を視察します。

対象者 茨城県内に事業所を有し、在留資格「技能実習」の人材に興味がある**事業者・監理団体**

参加費 渡航費用、宿泊費、食事代等の実費は参加者のご負担となります（**30万円程度の見込み**）。

応募書類や詳細は県庁HPをご覧ください！

主催 茨城県労働政策課・茨城県外国人材支援センター
お問い合わせ先：茨城県外国人材支援センター　担当：碇（いかり）
茨城県外国人材支援センター 029-239-3304

お申し込み方法

❶表面QRコードから募集要項及び参加申込書をダウンロードしてください。
❷募集要項を熟読の上、参加申込書に必要事項を記載いただき、次の提出先までお送りください。

メール y-ikari@ifc.ibaraki.jp　　**FAX** 029-239-3305

郵送・持参 茨城県外国人材支援センター　担当：碇（いかり）
〒310-0851 水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館 分館1階

申込締切：10月10日（金）午後５時まで！

※　定員になり次第、受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
　　お送りいただいた個人情報は、本事業及び関連する事業の活動以外には使用いたしません。

視察行程

11/9（日）	【移動】ベンガルールへフライト・インド入国（直行又は経由）	
11/10（月）	**【訪問】ベンガルール市内視察** **【訪問】JETROベンガルールによるブリーフィング**	
11/11（火）	**【訪問】ＡＲＭＳ社ベンガルール研修センター視察 （送出し候補者の学習環境視察、候補者との交流等）** 【移動】ベンガルール(17:30発)→チェンナイ(18:30着)〔6E356便〕	
11/12（水）	**【訪問】日本エデュテック社チェンナイ研修センター視察 （送出し候補者の学習環境視察、候補者との交流等）** **【訪問】チェンナイ市内の日系企業工場視察 （インド人材の実際の就労状況等を見学）**	
	≪基本日程のみの場合≫ 【移動】チェンナイ→日本へフライト（経由地あり）	**≪追加日程まで参加の場合≫** 【移動】チェンナイ→ベンガルールへフライト
11/13（木）	【移動】日本へ帰国	**【訪問】ＲＶ大学視察** **（学内視察、日本語コース受講生との交流、企業紹介等）**
11/14（金）	ー	【移動】ベンガルール→日本へ帰国（直行又は経由）

視察先について

送出機関

- 在インド日本国大使館の紹介先で、日本への豊富な送出し実績やノウハウを有する送出機関２箇所をご案内します。
- 視察のほか、ご要望があれば送出機関と条件等の相談も可能です。

ARMS	愛知県発の日本企業。顔立ち・文化・食事などの面で日本に馴染み易いインド北東部人材に強み。
日本エデュテック	チェンナイ発の送出機関。社長は日本勤務歴のあるインド人で日本語堪能。技術力優秀な南部人材に強み。

RV大学

- 「インドのシリコンバレー」と言われるベンガルールに所在する私立総合大学。
- 2024年２月に国際交流基金の支援で、言語・外国語センター（日本語コース）を開講。
- 在ベンガルール日本国総領事館の紹介を受け、2024年７月に茨城県知事が訪問し、本大学と人材の育成・送出し・受入れの相互協力に関する共同声明を発出しました。

留意点

1. **ホテル、航空券、パスポート、査証（VISA）は、ご自身で手配をお願いします**。インド入国には査証が必要となります。なお、参加者には、ご自身で査証申請をしていただく方法をまとめた資料をお渡しいたします。
2. 参加者が希望される場合には、県側が利用する旅行代理店の窓口をご案内いたします。上記1の手配（パスポート以外）をまとめて同代理店に依頼することも可能です（一定の手数料が必要となる場合があります。なお、他の代理店を使用又は代理店を通さずに手配いただいても差支えありません）。
3. 現地での車両は、県が手配します。
4. 基本日程の視察先はいずれも日本語で会話可能、追加日程の視察先では県が通訳を手配します。
5. 訪問先は、相手方との調整により変更となる可能性があります。特に、12日（水）に予定しているチェンナイ市内工場視察については、参加企業の業種を踏まえて視察先工場との調整を要するため、直前まで視察先及び視察の可否が確定しないことが予想されます。予めご了承ください。
6. 県同行者が使用するホテル及び航空便は、参加をご検討の方へ個別にご案内いたします。インドで他の用務がある等により、別ホテル・航空便（日印間）を使用いただいても差し支えありません。ただし、11日のベンガルール発チェンナイ行きの便については、訪問スケジュールの都合上、上記行程と同じ便を手配願います。
7. 県同行者と別のホテルを手配する場合、10日昼に、県同行者が使用するベンガルールのホテル又は用務先（JETROベンガルール）へお越し願います（具体的なホテルや集合時間は、決まり次第ご連絡いたします）。11日以降は、県同行者が使用するホテルに集合いただきます。
8. 県同行者と別のホテルを手配する場合、現地の交通渋滞を考慮し、できる限り県同行者の使用ホテルに近いホテルをお手配されることをお勧めします。
9. 県同行者は視察ツアー後も用務があるため、基本日程の帰国便には同乗せず、12日にベンガルールの空港で解散となります。